

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	薬事衛生課
職	課長
氏名	表 賢二

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
<p>食品と医薬品の安全・安心の確保を図る。 動物愛護管理施策の推進を行う。</p>	



組織の目標 (定性的目標)	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か 何をどのような状態にしたいか					
<p>①食品の製造・加工、流通・販売施設での衛生管理などの監視・指導を強化し、食の安全・安心の確保対策を推進する。 ②医薬品の有効性、安全性を確保し、医薬品の適正使用の啓発及びジェネリック(後発)医薬品の使用促進を行う。 ③危険ドラッグの販売や使用を規制し、早期の流通制限を図るとともに県民への普及・啓発により、健康被害の発生や重大な事故を予防する。 ④多様な主体と連携し、新たな「いしかわ動物愛護センター」を拠り所に、動物愛護精神の高揚、適正飼養の普及啓発、譲渡の推進等の施策を実施する。</p>						
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する					
	目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
	①食中毒発生件数(金沢市を除く)	7 件	R3 年度	4 件	R4 年度	H24～R3(10年間)の食中毒発生件数(平均)の50%値
	②ジェネリック医薬品使用割合	82.0 %	R3 年度	80 %	R5 年度	現行値は調剤医療費(電算処理分)の動向 目標値は経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)2021(NDB)
	③危険ドラッグに係る検挙人員	1 人	R3 年度	0 人	R4 年度	法規制されているので、使用根絶が目標
	④犬猫の殺処分数	59 頭	R3 年度	45 頭	R4 年度	いしかわ動物愛護管理推進計画(最終年度である令和12年度の目標値)



令和4年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
③危険ドラッグ対策の推進	危険ドラッグと認められる商品又はその疑いのある商品について、条例により「知事指定薬物」等に指定し、販売や使用を規制し、その流通を制限する。県民に対して危険ドラッグの乱用防止について普及啓発を行う。
④動物愛護管理施策の推進	譲渡の推進とその担い手となるボランティアを育成するとともに、飼い主、県民への動物愛護精神普及啓発を行う。また小学校への出前教室を通じ、子供を対象とした動物愛護教育の推進を行う。